

# 自立活動学習指導案

## 単元名「目と手を使って遊ぼう」

令和5年10月 2年 指導者 ○○ ○○

### I 単元の構想

#### 1 単元観

対象とする生徒は高等特別支援学校2学年1名の生徒である。Cは人と関わることが好きである。周囲の人や音、声が聞こえる方に反応して顔を上げる様子はあるが、人や物を注視したり、追視したりすることは少なく、すぐに顔を下に向けてしまう。お気に入りのおもちゃがあり、自分で使いたい物をよく見て選んでいたり、見当たらないと探したりする様子が見られる。本単元では、Cが好きな教材を使用して、教材を注視したり、追視したりする 目と手の協応ができるようになることを目標として設定した。

#### 2 研究との関わり

研究では、重度重複障害児の社会参画を踏まえた自立活動の充実に取り組んでいる。自立活動の「人間関係の形成」と「環境の把握」の2区分9項目において、人と関わる力の育成を図る上で、研究協力校（以下、協力校）と生活介護施設にアンケート調査を実施し、その両方の視点を分析することで、学校から社会へとつながる力を目指した実態把握表を作成する。その実態把握表を活用した自立活動の指導で、卒業後の生活を見越した力の育成またその基礎・基本となる力の育成を図ることができると考える。協力校の特色として、自立活動の時間は身体の学習に特化した学習活動が展開されることが多いが、そのねらいを「人間関係の形成」や「環境の把握」に焦点をあてることで、どのような活動内容であっても人と関わる力の育成を図ることができると考える。その手立てとして、実態把握表と連動したチェックシートを作成した。授業実践①では、先行研究を基に作成した仮の実態把握表を用いて、チェックシートをタブレットで使用して本時のねらい（付きたい力）や活動内容、手立てを定めることと、タブレットで授業前後や授業時にねらいを確認したり授業後に短時間で評価を記録したりすることの有効性を検証することができた。本実践では、アンケート調査を経て得られた協力校と生活介護施設の両方の視点を、仮の実態把握表に反映して作成した178項目の実態把握表とチェックシートを用いて行う。本単元においては、自立活動の区分「身体の動き」と結び付きやすい、目と手の協応を図った教材操作の活動を中心とした自立活動の時間において、「人間関係の形成」や「環境の把握」に焦点化したねらいを意識し、スモールステップで指導することで、単元を通して一貫した指導を行い、生徒の変容を段階的に捉えやすくして、人と関わる力を育てることができたかを検証したい。

#### 3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
C	<ul style="list-style-type: none"><li>好きな教材に手を伸ばし、やりたい教材を選ぶことができる。</li><li>教師が提示した教材を操作している手に視線を向け、教材を注視したり、追視したりすることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>人と関わることが好きであり、特定の教師の手を引いたり、物を渡したりして、気持ちを伝える姿が見られる。人や物音に反応し、視線を向ける様子はあるが、注視したり、追視したりすることは難しい。</li></ul>

#### 4 評価規準

C	<ul style="list-style-type: none"><li>好きな教材に手を伸ばし、教師に「やりたい」という気持ちを伝えることができる。 (3 人間関係の形成 (3) 自己の理解や行動の調整に関すること)</li><li>教師が提示した教材を操作している手を、注視したり追視したりすることができる。 (4 環境の把握 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること)</li></ul>
---	--

## 5 指導及び評価、ICT活用の計画（全6時間）

時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	◆評価項目＜方法（観点）＞
1	<p>■様々な教材に触れ、教材に興味を持ち、使ってみたい教材に手を伸ばすことができる。</p> <p>□ピットに座り、様々な教材に触れる。</p> <p>□教材に手で触ったりしながら、どのような教材で学習をするのかを確かめる。</p> <p>★チェックシートを確認できるようにタブレットを開いて、見える場所に置く。</p> <p>★活動の様子をタブレットで撮影し、振り返りをする。</p>	<p>◆様々な教材に触れ、興味のある教材に手を伸ばし、教師に気持ちを伝えようとしている。＜観察＞</p>
2	<p>■使いたい教材に手を伸ばしてつかんで選択し、教材を操作している手に視線を向けることができる。</p> <p>□ピットに座り、提示された二つの教材からやりたい教材を選択する。</p> <p>□選択した教材に視線を向けて、操作する。</p> <p>★チェックシートを確認できるようにタブレットを開いて、見える場所に置く。</p> <p>★活動の様子をタブレットで撮影し、テレビ画面につなげて振り返りをする。</p>	<p>◆提示された二つの教材の中から、教師の手を引いたり、自分で手を伸ばしてつかんだりして使いたい教材を選択している。＜観察＞</p> <p>◆提示された教材を操作している手に視線を向けようとしている。＜観察＞</p>
3	<p>■使いたい教材に手を伸ばしてつかんで選択し、教材を操作している手を、注視したり、追視したりしようとしている。</p> <p>□ピットに座り、視界に入る複数の教材の中から、使いたい教材を選択する。</p> <p>□選択した教材を注視・追視しながら操作する。</p> <p>★チェックシートを確認できるようにタブレットを開いて、見える場所に置く。</p> <p>★活動の様子をタブレットで撮影し、振り返りをする。</p>	<p>◆提示された複数の教材の中から、教師の手を引いたり、自分で手を伸ばしてつかんだりして使いたい教材を選択している。＜観察＞</p> <p>◆提示された教材を操作している手を注視したり、追視したりしようとしている。＜観察＞</p>

## II 第1時の学習

### 1 ねらい

好きな教材に手を伸ばして使おうとする活動を通して、教師に「やりたい」という思いを伝えることができる。

### 2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 はじめのあいさつをする。 (8分)</p> <p>号令をかけるよう生徒に促す。</p> <p>S：教師に促されて、何らかの反応で「礼」の号令をかける。</p> <p>使用する教材を生徒の視界に入る範囲に提示する。</p>	<p>○生徒が授業の始まりを意識することができるように、「授業を始めます。」と号令をかける。</p> <p>○学習の見通しをもつことができるように教材を始めに一つずつ提示する。</p>

<p>S：提示された教材に視線を向ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;めあて&gt;</p> <p>いろいろなおもちゃを使ってみよう。</p> </div>	
<p><b>2 ピットに座り、手を伸ばした教材から取り組む。(35分)</b></p> <p>① 教師に提示された教材に手を伸ばして触れる。 S：提示された教材に気付き、視線を向ける。 S：興味のある教材に手を伸ばしたり、教師の手を引き、取ってほしいと気持ちを伝えたりする。</p> <p>② 教師の手を引いたり自分で手を伸ばしたりして使いたい教材を伝え、興味のある教材を操作する。 S：興味のある教材に触れたりつかんだりして、自分なりに操作している。</p>	<p>◎教師が活動時に、生徒に身に付けたい力を意識できるように、チェックシートを開いておく。</p> <p>○生徒が教材に興味をもつことができるように、生徒が日常的に遊んでいるおもちゃを教材として使用する。</p> <p>○活動に取り組んでいることを称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>提示された教材に視線を向け、手を伸ばして教師に「やりたい」という思いを伝えようとしている。&lt;観察&gt;</p> <p>○「やりたい」という気持ちが伝わったと実感することができるように、教材を手渡して、応えるようにする。</p> <p>○視覚的に振り返り活動を行うことができるように、生徒の活動の様子をタブレットで動画を撮影する。</p> </div>
<p><b>3 本時を振り返り次時への見通しをもつ(★)。(5分)</b></p> <p>タブレット画面を見せて、本時の学習活動を振り返る場面を設定する。 S：タブレット画面に視線を向ける。 S：教師から称賛されて、何らかの反応をする。</p>	<p>○生徒が本時の学習を振り返ることができるように、タブレット画面で撮影した動画を見る。</p> <p>○振り返りで生徒が達成感をもつことができるように、取り組んでいる様子の動画を見ながら、称賛する。</p>
<p><b>4 おわりのあいさつをする。(2分)</b></p> <p>号令をかけるよう生徒に促す。 S：教師に促されて、何らかの反応で「礼」の号令をかける。</p>	<p>○生徒が授業の終わりを意識することができるように、「授業を終わります。」と号令をかける。</p>

### Ⅲ 第3時の学習

#### 1 ねらい

好きな教材に手を伸ばして操作する活動を通して、教師に「やりたい」という思いを伝えることができる。

#### 2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)</p>
<p><b>1 はじめのあいさつをする。(8分)</b></p> <p>号令をかけるよう生徒に促す。 S：教師に促されて、何らかの反応で「礼」の号令をかける。</p> <p>使用する教材を生徒の視界に入る範囲に提示して、興味を引くようにする。 S：提示された教材に視線を向ける。</p>	<p>○生徒が授業の始まりを意識することができるように、「授業を始めます。」と号令をかける。</p> <p>○学習の見通しをもつことができるように生徒が日常的に遊んでいるおもちゃを教材として、始めに一つずつ提示する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;めあて&gt;</p> <p>二つのおもちゃから一つを選んで、よく見て使おう。</p> </div>	

<p><b>2 ピットに座り、手を伸ばした教材から取り組む。</b> (35 分)</p> <p>① 教師に提示された二つの教材のどちらかに手を伸ばしてつかむ。  S：視界に提示された教材に気付き、視線を向ける。  S：二択で再度同時に提示された教材に視線を向け、操作したい教材を選ぶ。  S：興味のある教材に手を伸ばしたり、視界の中にある教師の手を引き、取ってほしいと気持ちを伝えたりする。</p> <p>② 視界の中にある教師の手を引いたり、自分で手を伸ばしたりして、使いたい教材を伝え、興味のある教材に取り組む。  S：興味のある教材をつかんで引き寄せて、自分なりに操作している。  S：教師の働きかけに応じ、教材を操作している手に目線を向けようとしている。</p>	<p>◎教師が活動時に、生徒に身に付けたい力を意識できるように、チェックシートを開いておく。</p> <p>○生徒の視線に入りやすいように、下方から教材を個別に提示をして、教材に対して注視しやすいようにし、教材を同時に見比べ、二択で選ぶ場面を設定する。</p> <p>○教師の存在が生徒の視線に入りやすいように、下方から話しかけたり、生徒が思いを伝える際に手を伸ばしやすくするために、教師から手を近付けたりする。</p> <p>○活動に取り組んでいることを称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>視界に入るように提示された教材を注視し、手を伸ばして教師に「やりたい」という思いを伝えようとしている。＜観察＞</p> </div> <p>○「やりたい」という気持ちが伝わったと実感することができるように、教材を手渡して、応えるようにする。</p> <p>○生徒の視線に入りやすいように。下方から教材に指さしをしたり、声掛けをしたりして、教材を操作している手に目線を向けやすいようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>選択した教材を操作している手に視線を向けようとしている。＜観察＞</p> <p>○視覚的に振り返り活動をすることができるように、生徒の活動の様子をタブレットで動画を撮影する。</p> </div> <p>○生徒が本時の学習を振り返ることができるように、タブレット画面で撮影した動画を見る。</p> <p>○振り返りで生徒が達成感をもつことができるように、取り組んでいる様子の動画を見ながら、称賛する。</p> <p>○生徒が授業の終わりを意識することができるように、「授業を終わります。」と号令をかける。</p>
<p><b>3 本時を振り返り次時への見通しをもつ (★)。</b> (5 分)</p> <p>タブレット画面を見せて、本時の学習活動を振り返る場面を設定する。  S：タブレット画面に視線を向ける。  S：教師から称賛されて、何らかの反応をする。</p>	
<p><b>4 おわりのあいさつをする。</b> (2 分)</p> <p>号令をかけるよう生徒に促す。  S：教師に促されて、何らかの反応で「礼」の号令をかける。</p>	

#### IV 第6時の学習

##### 1 ねらい

好きな教材に手を伸ばして操作する活動を通して、教師に「やりたい」や「やりたくない」という思いを伝えることができる。

##### 2 展 開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<b>1 はじめのあいさつをする。</b> (8 分)	○生徒が授業の始まりを意識することがで

<p>号令をかけるよう生徒に促す。  S：教師に促されて、何らかの反応で「礼」の号令をかける。  使用する教材を生徒の視界に入る範囲に提示して、興味を引くようにする。  S：提示された教材に視線を向ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜めあて＞</p> <p>いろいろなおもちゃの中から一つを選んで、よく見て使おう。</p> </div>	<p>きるように、「これから、自立活動の勉強を始めます。注目、礼。」と号令をかける。  ○学習の見通しをもつことができるように生徒が日常的に遊んでいるおもちゃを教材として、始めに一つずつ提示する。</p>
<p><b>2 ピットに座り、手を伸ばした教材から取り組む。</b>  (35 分)</p> <p>① 学習活動で操作する複数の教材を、教師と一緒に確認する。  S：交互に提示された教材に気付き、視線を向ける。</p> <p>② 操作する教材を選ぶ。  S：三択以上で再度提示された教材に視線を向け、操作したい教材を選ぶ。  S：興味のある教材に手を伸ばしたり、視界の中にある教師の手を引き、取ってほしいと気持ちを伝えたりする。</p> <p>③ 視界の中にある教師の手を引いたり自分で手を伸ばしたりして、使いたい教材や使いたくない教材を伝え、興味のある教材に取り組む。  S：興味のある教材をつかんで引き寄せて、自分なりに操作している。  S：教師の働きかけに応じ、操作している手や教材を注視したり、追視したりしようとしている。</p>	<p>◎教師が活動時に、生徒に身に付けたい力を意識できるように、チェックシートを開いておく。  ○生徒の視線に入りやすいように、下方から教材の一つずつ提示して、生徒が学習活動を確認できるようにする。  ○複数の教材を生徒の視界の範囲内に置き、その中から選ぶ場面を設定する。  ○教師の存在が生徒の視線に入りやすいように、下方から話しかけたり、生徒が思いを伝える際に手を伸ばしやすくするために、教師から手を近付けたりする。  ○活動に取り組んでいることを称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>視界に入るように提示された教材を注視し、手を伸ばして教師に「やりたい」、または「やりたくない」という思いを伝えている。＜観察＞</p> <p>○「やりたい」という気持ちが伝わったと実感することができるように、教材を手渡して、応えるようにする。  ○生徒の視線に入りやすいように。下方から教材に指さしをしたり手を添えたり、声掛けをしたりして、教材を操作している手に視線を向けやすいようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>操作している手や教材を注視したり、追視したりしている。＜観察＞</p> <p>○視覚的に振り返り活動をすることができるように、生徒の活動の様子をタブレットで動画を撮影する。</p> </div>
<p><b>3 本時を振り返り次時への見通しをもつ（★）。</b>  (5 分)</p> <p>タブレット画面を見せて、本時の学習活動を振り返る場面を設定する。  S：タブレット画面に視線を向ける。  S：教師から称賛されて、何らかの反応をする。</p>	<p>○生徒が本時の学習を振り返ることができるように、タブレット画面で撮影した動画を見る。  ○振り返りで生徒が達成感をもつことができるように、取り組んでいる様子の動画を見ながら、称賛する。</p>
<p><b>4 おわりのあいさつをする。</b>  (2 分)</p> <p>号令をかけるよう生徒に促す。  S：教師に促されて、何らかの反応で「礼」の号令をかける。</p>	<p>○生徒が授業の終わりを意識することができるように、「授業を終わります。」と号令をかける。</p>

## V 備 考

### 参考文献、著作権関係等

- ・長崎自立活動研究会(2019) 「自立活動学習活動内容要素表」
- ・広島県立福山特別支援学校(2023) 「重度重複障害児のアセスメントチェックリスト」
- ・古川勝也編集、一木薫編著(2016) 「自立活動の理念と実践」 ジアース教育新社